



あすなろだより

2014年3月20日

発行 三重県立^{こども}小児心療センター あすなろ学園 広報担当
〒514 0818 三重県津市城山1 12 3 TEL.059 234 8700 FAX. 059 234 9361
MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL: http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/



☆あすなろ学園祭のご報告☆



2013年10月27日(日)に『あすなろ学園祭』が開催されました。

『あすなろ学園祭』とは、病棟での日頃の療育活動や分校での学校教育の成果を公開し、家族や地域の皆様、関係機関の方々など学園内外に広く見ていただく機会として、毎年秋に開催される“当園最大の療育活動”です。今年度からはあすなろ分校と共催し、よりパワーアップした形での開催となりました。

プログラムとしては、全員が一緒になって踊る『よさこい』や中学生による太鼓演奏、各病棟別の舞台発表などに加え、飲食店やフリーマーケット、あそびコーナーや作品展示コーナーなどの催し物がありました。

子どもたちの準備段階からの取り組みとしては、7月頃より太鼓グループの練習が始まります。最初の頃はバラバラだった音も、練習を重ねるごとに息の合った演奏へと変わっていきました。

8月頃からは展示作品の作成が始まります。共同作品をみんなで協力し合って作ったり、一人ひとりが工夫しながらオリジナルティ溢れる個人作品を作ったりと、子どもたちが一生懸命になって作品作りに没頭します。また今回は掲示用の案内ポスターも子どもたちが主体的に作成してくれました。



9月頃からは各病棟でのよさこいや舞台発表の練習が始まります。夕方になると、よさこいの軽快なリズムに合わせた子どもたちの活気溢れる声が聞かれるようになったり、舞台発表の台本を片手に必死になってそれぞれの台詞や動きを覚えようとしたりする姿が見られました。

10月に入ると全病棟揃っての全体リハーサルが繰り返し行われ、学園全体が学園祭ムード一色になっていきます。子どもたちのみならず職員も期待感に胸を膨らませ、待ち遠しい気持ちになっていきます。

今年は、台風接近の影響から、当日の開催が危ぶまれましたが、“学園祭をしたい！！”という子どもたちの強い想いが勝り、見事に天候も回復し、無事に開催することができました。学園祭という晴れ舞台で、子どもたちは多少の不安や緊張を抱えながらも、一生懸命頑張って練習や準備に取り組んできた成果を、存分に発揮することができました。たくさんの観客から称賛を浴びる経験を通して、子どもたちは大きな自信と充実感を得ることができました。

終了後に子どもたちに感想を聞きました。“失敗も繰り返したけど、本番はきちんとできて良かった”、“あすなろでしか楽しめないことができて良かった”、“舞台発表は緊張したけど、成功して良かった”、“太鼓を初めて大勢の前で叩いたけれど、結構上手くできて良かった”、“おもしろかった。またやりたい”、“達成感の持てる学園祭だった”といった声が多数あがり、子どもたちが大きく成長した様子が窺えます。この学園祭で得た経験を、今後も大いに活かしていってくれることを、心から期待しています。



「三重県こども心身発達医療センター（仮称）」概要のお知らせ

本県の子どもの発達支援体制の現状や課題を踏まえ、これらに適切に対応するため、障がいや発達に課題のある子どもの専門医療・福祉機関である県立草の実リハビリテーションセンターと県立小児心療センターあすなろ学園、三重県児童相談センターの言語聴覚機能を統合し、「三重県こども心身発達医療センター（仮称）」として、併設する特別支援学校とともに一体的に整備します。

隣接する国立病院機構三重病院とも連携し、小児医療提供体制・療育体制の充実を図るとともに、子どもたちの発達支援の拠点として整備する新施設の基本設計がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

病院機能の建物は、1階に「あすなろ外来」「草の実外来」「草の実病棟」「厨房」等を配置します。正面玄関は1カ所ですが、外来の診察室や、待合ロビーなどをそれぞれの分野ごとに設け動線分離を図りました。2階は、リハビリ部門、デイケア部門、心理部門、聴覚部門と会議室や地域連携部門、管理部門としました。3階、4階が、「あすなろ病棟」になりました。個室や活動室を増やし、子どもたちが安心して暮らせる環境を設定しました。

特別支援学校は、「草の実病棟」の子どもたちは、平行移動できるよう1階とし、「あすなろ病棟」の子どもたちは、3階の中庭ゾーンを通学路として2階の教室に通学します。

眺望もよく、きっと素晴らしい治療・教育環境となると思います。開院までの間、必要な機能やソフト面の充実を検討し、実施に向けてブラッシュアップしていきます。

1. 施設計画の概要

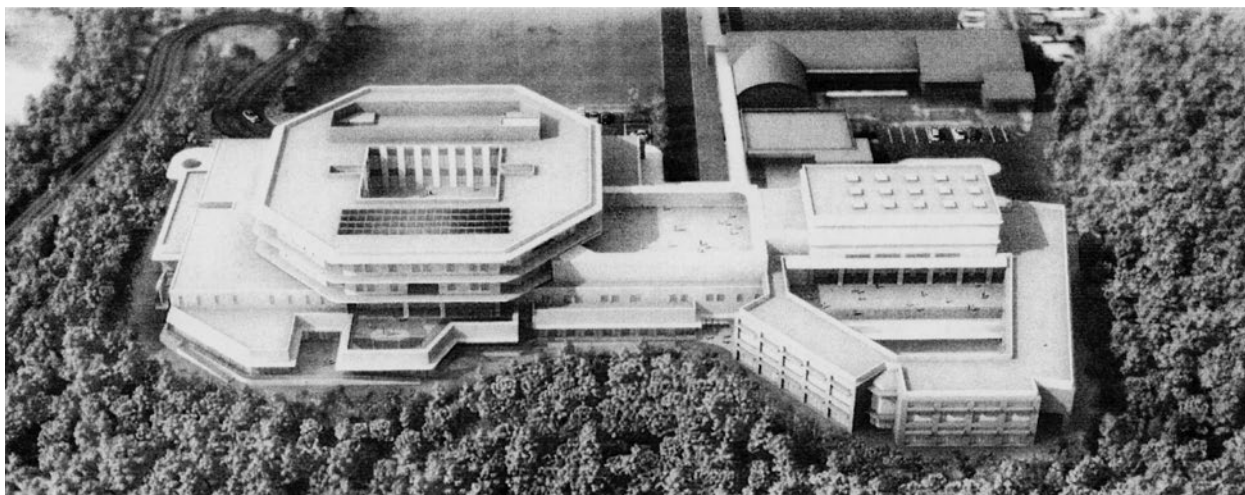
- (1) 対象児：肢体不自由児、自閉症児、発達障がい児、情緒障がい児等
- (2) 予定病床数：110床 3病棟
(小児整形外科病棟 30床×1病棟) (児童精神科病棟 40床×2病棟)
- (3) 予定外来利用者数：1日当たり約160人(現在と同じく全て予約診療)
- (4) 医療機能：病院(小児整形外科、リハビリテーション科、児童精神科)
入院治療、外来診療、理学療法、作業療法、言語療法、デイケア、
心理療法等を実施
- (5) 福祉機能：医療型障害児入所施設、障害児通所支援(児童発達支援)事業所、
障害福祉サービス(生活介護及び短期入所)事業所、きこえの相談
- (6) 教育機能：特別支援学校 110人(病床数と同数)
(肢体不自由教育部門 30人) (病弱教育部門 80人)

2. 建築計画の概要

- (1) 建築場所：津市大里窪田町地内 (国立病院機構三重病院隣接地)
- (2) 敷地面積：約16,600㎡
- (3) 建築規模：延べ面積 約17,100㎡、建築面積 約7,600㎡
(新センター：約13,000㎡、特別支援学校：約4,100㎡)
- (4) 建築構造：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 4階建て
- (5) 概算建築工事費：約60億円(新センター約48億円、学校約12億円)

3. 整備のスケジュール

平成25年度	建築基本設計完成	建築実施設計着手	建築関連工事着手
平成26年度	建築実施設計完成		
平成27年度	建築工事着手		
平成28年度	建築工事完成		
平成29年度	新施設開院及び開校	(予定)	





おくすりのはなし <中級編>

みなさん気になる“おくすり”のはなし。

今回は“^{ちゅうきゅうへん}中級編”。

あすなろ学園でよく使用される医薬品についてご紹介します。

分類	作用	副作用	代表的な くすりの名称
催眠薬	不安を和らげたり、気持ちをおちつかせ、眠気をおこす。	ふらつき、脱力感、倦怠感	ロヒプノール レンドルミン マイスリー
抗精神薬	不安、焦燥、興奮を鎮める。 幻覚、妄想、思考障害を軽減する。	たちくらみ、よだれ、頻脈等 手が震えたり、不自然な歩行 おちつき	ヒルナミン リスパダール エビリファイ
抗不安薬	不安感を和らげる。	眠気、もうろう感	デパス ワイパックス
抗うつ薬	うつ状態を軽減する。	眠気、口渇、便秘、排尿困難	ルボックス パキシル ジェイゾロフト
気分安定薬	気分の浮き沈みを軽減する。	けいれん、血液、皮膚疾患	リーマス デパケン テグレトール
注意欠陥/ 多動障害 治療薬	注意欠陥、多動性の軽減。	消化器症状	コンサータ ストラテラ

※ ご心配なことがありましたら、
すぐに医師または薬剤師に相談しましょう。



外来診療のご案内

* 診察は完全予約制です。

都合により変更になる場合もあります。

● 診察予約電話番号 **059-234-9700**

〔 受付時間 9:00~12:00
(月~金) 13:00~16:30 〕

(平成26年3月1日現在)

曜日	月	火	水	木	金
1 診	中島	西田	西田	大橋	大槻
2 診	柿元	中西	石田	中西	笹岡
3 診			大槻		
4 診	笹岡	中島	中野	柿元	中野